2013年９月17日

各　　位

会 社 名　日本ケミカルリサーチ株式会社
代表者名　取締役会長兼社長　芦　田　　信
（東証２部　コード番号4552）
問合せ先　管理本部　総務部長　三浦　祐一
（ＴＥＬ　0797-32-8591）

# 腎性貧血治療薬の海外での開発・販売権について

当社は2009年12月にグラクソ・スミスクライングループ（以下、「ＧＳＫ」という。）と腎性貧血治療薬遺伝子組換えエリスロポエチン製剤（ＥＰＯ製剤）の海外での開発・販売権とライソゾーム病治療薬の国内外における開発・販売権を対象としたバイオ医薬品事業の提携を行いました。

このうちＥＰＯ製剤については、提携（協業）発足以来ＧＳＫが日本を除く全世界での開発および事業化の機会を検討してきましたが、米国を含む主要国での開発において当初想定していたよりもより多くの治験・規制上の要件が必要となる可能性が高まってきたことなどを背景に、開発計画に遅れが生じました。こうした状況を踏まえ、この度両社で協議の結果、ＧＳＫから当社にＥＰＯ製剤に関する海外での開発・販売権について全面返還することで合意しましたのでお知らせします。

当社では、ＥＰＯ製剤のすべての権利が当社に返還されたことから、新たなパートナーと共に同製剤の早期海外販売に向け全力を注いでおります。また、ＥＰＯ製剤は、国内においては、2010年5月よりキッセイ薬品工業株式会社を通じて日本で順調に販売実績を伸ばしており、その品質・経済性を活かすことで、海外においてもシェアを獲得できると判断しています。

なお、当社はＧＳＫとの酵素治療薬（ライソゾーム病治療薬）の研究開発は順調に進捗しており、今回のＥＰＯ製剤の権利返還はＧＳＫとの協業への影響はありません。

本件による2014年３月期決算の損益への影響はありません。

以上